

アンカレジ市

●位置

アンカレジ市は、アメリカ合衆国アラスカ州の中南部に位置し、西にイギリスの探検家キャプテンクックが錨を下ろしたといわれるクック湾を望み、東には白嶺のチュガツチ山脈がそびえています。

●気候・自然

アンカレジ市を中心とする中南アラスカは、太平洋の黒潮が南を流れ、アラスカ山脈が北部にそびえて北風を防いでいるため気候が比較的温暖で、平均気温は、夏は10度〜21度、冬はマイナス14度〜マイナス6度です。

市の位置が北緯61度(千歳は北緯43度)と高緯度地域にあるため、日照時間は、夏は19時間、冬は5時間程度で、夏には白夜が続き、冬にはオーロラが夜空にゆらめいて幻想的な世界を生み出します。郊外のポーテージ氷河では氷結した川の見学ができます。森ではムース(へら鹿)などの野生動物に出会



うことができ自然に恵まれています。

●歴史

アンカレジ市を含むアラスカ州は先住民のインディアンやエスキモなどが拓いた土地です。

1915年にアンカレジ周辺でアラスカ鉄道の建設が始まり、世界各地から人々がやってきてまちの発展

が始まりました。その後、第2次世界大戦の軍需などにより道路や空港、港湾の建設が進みアンカレジ市は大きく成長しました。

●経済

アンカレジ市は人口が約28万人で、アラスカ州の約半数の方が住む州最大の都市です。また、アラスカ州の主要産業である石油や天然ガスをはじめ、たくさんの金融、貿易、交通、観光、行政機関などが拠点を置き活動しています。このほか国際空港や国際貿易港は高い取扱量を誇り、アンカレジ市は名実ともにアラスカ経済の中心地となっています。

熱烈的歓迎

姉妹都市提携40周年を記念して行われたアンカレジ市への訪問。訪問団は、山口市長のほか公式訪問団15人、一般参加の市民12人、姉妹都市ユースサミットに参加する中学・高校生5人など総勢36人です。何度か訪問経験のある方もいますが、初めてアンカレジを訪問する方が多く、新たな出会いへの期待を胸に秘めての訪問となりました。

訪問団は、7月26日午前9時すぎに盛夏のアンカレジ国際空港に到着しました。訪問団は、ダン・サリバアンカレジ市長や姉妹都市委員会、



ホストファミリーの皆さん。

新たな交流の始まりです。



今回中学・高校生がお世話になった話になったホストファミリーの皆様、また、アンカレジ市の自然動物の象徴である「ムース(へら鹿)」や「白頭わし」のマスコットも加わった熱烈的な歓迎を受け感激ひとしおでした。

今回の交流は、笑顔と笑顔が交わされる温かな雰囲気にも包まれて始まりました。この日の夕方、歓迎会が開催され、アンカレジ市からは、スゼツテ・マシユバーン姉妹都市委員長のほか歴代のアンカレジ市長やミスアンカレジなど千歳とゆかりのある方がたくさん参加されました。参加者は、お互いに自己紹介し、アンカレジと千歳の気候や自然、まちの特徴、共通点などについて語り合いました。また、さまざまな分野で行われている交流活動や訪問の思い出も話題となり、40年間の交流の歴史を振り返りながら和やかに友情を深めました。



歓迎会での交流